

## 2021 年前・後期 授業改善アンケート集計結果に対する意見

### —キャリアセンター—

センター長 山重 芳子

全学共通教育科目のキャリアセンター開講科目の実施対象科目 18 科目中 14 科目についてアンケートが実施されました。授業全体に対する評価である項目 11「この授業は総合的に判断して自分にとって有意義だった」は 4.56 と高い評価を得ています。これは昨年度とほぼ同じ水準で、遠隔授業による影響が見受けられません。

項目 11 と強い正の相関関係が見られたのは、項目 10「この分野への興味・関心が引き起こされた」、項目 3「教員は毎回の授業ごとに十分な指示を行っていた」などで、適切に授業が運営されていると言えます。

用いられた授業手法に関するアンケート結果によると、学生の主体的な取り組みを促す多様な授業手法がとられていることが顕著です。グループワーク（回答率:49.2%）や、ディスカッション（回答率:37.7%）、外部講師招聘(回答率:56.6%)などがキャリアセンター開講科目の特徴的な授業形態となっています。

授業を通じて身についた資質・能力に関するアンケートからは、「この分野の知識、学力」（回答率: 63.9%）の他に「コミュニケーション能力」（54.9%）、「柔軟な発想力」（41.0%）、「論理的思考力」（40.2%）、「課題発見力」（38.5%）、「俯瞰力」（37.7%）について高い回答率が得られています。キャリアセンター開講科目が大学ディプロマポリシーにつながる多様な資質・能力を育成するきっかけになっていると考えられます。「協働力」、「構想力」、「人脈形成力」、「統率力」などについても、大学全体と比較して回答率が高く、リーダーシップや主体的行動を促す授業が行われていると言えるでしょう。

以上